

各階層別の安全教育プログラムへの記入方法について（案）

- 1 各階層別（経営層、事業所長・工場長、部課長、安全スタッフ、係長・職長、一般社員・新入社員）の安全教育プログラムを、3.の記載例によりご記入ください。

なお、団体（産業分野）共有の安全教育プログラムがある場合には、団体（産業分野）共有のプログラムをお願いします。

- 2 安全教育プログラムは、別添の「各階層を対象とした中災防及び労働基準協会が実施している主な安全衛生研修」の記載例を参考に、労働安全衛生関係の研修の名称等をご記入ください。

ご記入に当たっては、①外部機関が実施する研修を活用している研修（外部機関の研修を活用している場合にはその旨を記入してください。）や、②座学のみならず体験・体感教育（体験・体感教育の場合にはその旨を記入してください。）もご記入ください。

なお、研修対象が複数の階層に跨っている場合には、対象階層のすべての階層欄にご記入ください。

3 記載例

(1)研修の名称	●●研修（外部）
(2)研修の目的	プルダウンメニューでキーワードが選択できるようにしています。 キーワードは、「手法別」「ハザード別」の2種類に分かれています。それぞれ、1つを選んでください。キーワードの説明は、別添をご覧ください。
(3)実施頻度	●月に1回 など、頻度をご記入ください。
(4)研修内容の頻度	主な科目名を2～3科目をご記入いただき、その時間（座学●●時間、実技・実習の時間●●等）をご記入ください。

なお、「研修の目的」の欄において、複数のキーワードを含む研修の場合には、主たるキーワードを入力ください。

また、複数日にわたり幅広い項目を含む大規模な研修（例：産業安全塾など）の場合には、講演（講義）ごとに分割してご記入ください。この場合、分割した講演（講義）ごとに、「研修の目的」の欄のキーワードを、「手法別」「ハザード別」に、それぞれ1つ選んでください。

「危険体験教育」を実施されている場合は、詳しい実施方法（パンフレット等）がありましたら、添付してください。

- 4 様式に書ききれない場合には、適宜欄を追加してください。

担当： 中央労働災害防止協会
教育推進部 林 かおり
TEL：03-3452-6186
Mail：k-hayashi@jisha.or.jp

キーワードの説明

手法別キーワード

1	企業理念・安全理念等	企業理念、経営方針、安全に関する責任（刑事責任、民事責任、経営責任）、安全文化等
2	安全衛生推進計画等	安全衛生推進計画、安全管理方針・目標等
3	安衛法令・マニュアル等	安衛関係法令、行政通達、社内安全ルール運転・作業マニュアル、運転パラメーター、連絡調整等（就業制限業務に関する法定教育含む。）等
4	安全衛生管理体制	安全衛生管理の各級管理者の実施事項（総括安全衛生管理者、安全管理者、職長、作業主任者等。法定教育含む。）
5	災害事例・災害統計	災害事例・労働災害統計の分析等
6	リスクアセスメント	ハザードの洗い出し、リスクの見積もり、優先順位の設定、リスク低減対策の検討
7	安衛マネジメントシステム	労働安全衛生マネジメントシステム
8	設備点検等	設備点検基準、項目、手法、頻度等
9	安全活動等	安全活動（ヒヤリハット、5S、TBM、指差呼称、KYT等）
10	非定常作業対策	非定常作業前の対策、実施方法等
11	危険体感教育	危険体感教育（VR含む）
12	教育指導手法等	安全教育手法、指導方法等
13	防災・異常時対応	労働災害発生時、地震等発生時の緊急連絡体制、初期対応、応急措置等
14	安全監査	安全に関する内部・外部監査

ハザード別キーワード

A	全般	「全般」には、全ての危険性（ハザード）に共通するものが含まれる。
B	機械等	「等」には、ボイラー、圧力容器、足場、型枠支保工、チェーン等が含まれる。
C	爆発性、発火性、引火性、腐食性等の物質	「引火性の物」には、可燃性ガス、粉じん等が含まれ、「等」には酸化性の物、硫酸等が含まれる
D	電気、熱、その他のエネルギー	「その他のエネルギー」にはアーク等の光エネルギーが含まれる。
E	作業方法	「作業」には、掘削、採石、荷役、伐木、鉄骨組み立て等の作業が含まれる。
F	作業場所	「場所」には、墜落、土砂等の崩壊、足を滑らす、つまずく、採光、物の落下のおそれのある場所が含まれる。
G	作業行動等	「作業行動」には、ヒューマンエラー、不安全行動、近道行動、無理な動き等による危険性が含まれる。
H	その他	「その他」には、他人の暴力、もらい事故による交通事故等労働者以外の者による危険性が含まれる。